

5年

国語

言葉を使い分けよう

5年

組

名前

① 言葉を選ぶときについて話しています。
()に当てはまる言葉を□から選んで書きましよう。

お知らせの文を書くときの言葉は、(相手)の立場に立って(理解)しやすい(表現)にする。



和語や(漢語)、外来語などで(同じこと)を表す別の(言い方)がないかを考える。



言いかえることで伝わる(内容)が(変わって)しまわないかを考える。



漢語・同じこと・言い方・相手理解・変わって・表現・内容

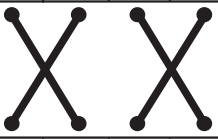
同じ言葉は一度しか使えません。

③ ①～④につながる言葉とその意味を線で結びましよう。

④	③	②	①
目にも	会心の	あかつきの	ひとあわ



空	ふかせる	見せる	笑み ^え をもらす
---	------	-----	----------------------



相手の不意をついて、おどろきあわせてさせる。	太陽がのぼる前の明け方の空。	思った通りになり、満足して笑顔になる。	相手をひどい目にあわせて、思い知らせる。
------------------------	----------------	---------------------	----------------------



② 好きな物語を別の物語に書きかえる話をしています。()に当てはまる言葉を□から選んで書きましよう。

書きたい物語を選んで、(変える)部分を考える。

主な(登場人物)、時や(場所)、主な出来事やその解決など、設定と出来事、解決や(結果)がうまくつながるように(構成)を考える。



(会話文)や登場人物の(様子)、情景などを(工夫)して書く。

構成・場所・様子・登場人物 会話文・変える・工夫・結果

同じ言葉は一度しか使えません。